



# 新しい日田の 森林・林業・木材産業振興ビジョン



令和6年度  
取組内容

# 「日田もりビジョン」の概要について

## 【位置づけ】

- 本ビジョンは、日田市の最上位計画となる「第6次日田市総合計画」に基づく、林業振興分野の個別計画として位置づけ。
- 策定にあたっては、国・県の計画や本市の諸計画等との整合性を図りながら、今後の森林・林業・木材産業のあるべき姿の将来像等を明確にするもの。

## 【計画期間】 ● 平成27年度～令和9年度（13年間）

## 【見直し経過＝社会・経済情勢の変化＝】

- 第1次見直し（令和元年度）
  - ・九州北部豪雨災害（平成29年7月）等の発生を契機とした、災害に強い森林の施業、管理方法の促進
  - ・令和元年度創設された「森林経営管理制度」、「森林環境税」、「森林環境譲与税」の導入による、地域の森林の適正管理の推進 など
- 第2次見直し（令和5年度）
  - ・森林・林業基本計画（令和3年6月閣議決定）では、森林・林業・木材産業の「グリーン成長」の推進が掲げられ、森林を適正に管理して、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させるという、2050年カーボンニュートラルも見据えた方針が示される。
  - ・森林所有、経営・管理に関する制度が新たに創設され、その後本格運用となり、森林の適正な経営・管理に向けた体制の強化が必要となっている。
    - 森林環境税の徴収開始・森林環境譲与税の満額交付（令和6年度）、森林経営管理制度の浸透、相続土地国庫帰属制度の開始（令和5年度） など

# 「日田もりビジョン」に掲げる 日田市が目指す森林・林業・木材産業



3つの施策に分けそれぞれに目指す方向性を提示

施策体系	目指す方向性
(1) <u>森林(もり)を守り・育てる</u> (森林、林業に関わる部分)	森林の多面的機能を将来にわたって享受できるように、森林の適正な整備、保全を目指す
(2) <u>森林(もり)を活かす</u> (木材産業に関わる部分)	日田材のブランド化を進め、素材生産から製材、流通、住宅等が一体となった、生産・販売の拡大を目指す
(3) <u>森林(もり)でつながる</u> (木育や市民協働、地域活性化、人材育成など)	積極的に「森や木」に関わってもらえるような体制づくりと森林・林業・木材産業を担う人材の育成を目指す



# (1) 森林 (もり) を守り・育てる

## ① 多面的機能を発揮する豊かな森林づくり

- 水郷日田の森林づくり
- 災害に強い森林づくり
- 市有林の活用

### 【R6 年度実績】

風倒木被害軽減対策事業



施工前



施工後

・ 森林防災流木等対策事業 (H28～) (溪流沿い等の森林整備) 8,000 <sup>(R4～譲与税)</sup> 【重点施策】

⇒平成29年7月、令和2年7月、令和5年7月豪雨災害を受け、県と市が協調して流木の発生や浸食の危険性が高い河川や溪流沿いの危険箇所および尾根急傾斜地の危険箇所の整備を実施。  
(市：河川沿い 1.17ha、県：河川沿い 2.13ha、尾根・急傾斜地沿い 2.43ha) 合計：5.73ha

・ 風倒木被害軽減対策事業 (R4～) (危険木の伐採・除去) 8,389 <sup>(譲与税)</sup> 【重点施策】

⇒公民館等の防災拠点の裏山にある危険木伐採に加えて、送電線沿いの支障木の伐採。  
(防災拠点：2団体、送電線沿い：2.5km、1か所300㎡)

・ 市有林多様な森づくり事業 (R3～) 26,151 【重点施策】

⇒市有林の主伐を進め、災害防除やバイオマス利用、早生樹・広葉樹等、多種多様な森づくり整備

①主伐・再造 林(植栽) 2.95ha、②下刈り16.44ha、③シカネット 1,097m

### 【R7 年度予算】

・ 森林防災流木等対策事業 8,000 【重点施策】 (譲与税)

・ 風倒木被害軽減対策事業 10,000 【重点施策】 (譲与税)

・ 市有林多様な森づくり事業 24,884 【重点施策】

※R6年度は決算額、R7年度は予算額(単位:千円)

【重点施策】 = ビジョンの重点施策事業 (譲与税) = 森林環境譲与税活用 以降同様



## ②持続可能な森林経営の推進

- 人工林の適正管理
- 施業・森林経営の集約化



### 【R6年度実績】

#### 森林経営管理推進事業



施工前



施工後

- **森林整備総合対策事業**（公共造林補助への上乗せ）124,103 （一部譲与税）  
【重点施策】  
 ⇒植栽:234.38ha、下刈り:1,080.27ha、切捨間伐:55.35ha、路網整備:23,765m  
 シカネット:60,283m、搬出間伐:43.27ha、間伐材安定供給:133.06ha
- **森林経営管理推進事業**（経営管理制度による森林整備）16,186 （譲与税）  
【重点施策】  
 ⇒従来の補助制度では適切な森林管理が困難な場合の経営管理制度に基づく森林整備。  
 森林の現況調査:89.89ha、森林所有者への意向調査:49.43ha、保育間伐:2.83haなど。
- **有害鳥獣被害防止対策**（防護柵設置、捕獲報償金等）57,447  
 ⇒防護柵:4,989m、イノシシ:2,758頭、シカ:2,481頭、アナグマ:876頭 ほか
- **林道点検診断・保全整備事業** 23,822  
 ⇒既設の林道のトンネルや橋梁の点検、診断及び健全性の評価を行うもの。
- **林道巡視維持改善事業**（林道パトロール、草刈り等）3,818 （譲与税）
- **林道作業道原材料支給事業**（生コン等の支給）40,600 （一部譲与税）  
 ⇒支給作業道延長（R6実績：46路線、2,976m）
- **林道維持補修事業**（林道の維持補修工事費等）38,724 （一部譲与税）  
 ⇒林道の補修、落石除去等（R6実績：43路線）

### 【R7年度予算】



## ○施策体系別目標値（森林を守り・育てる）

指標名 (基準年度:R4)	実績 (R5年度(次))	実績 (R6年度(次))	7年度(次)	8年度(次)	目標値 (令和9年)	備考
1 再造林(植栽)面積	256.65ha	234.38ha	251ha	251ha	<b>251ha</b>	単年度
2 災害に強い森林 づくり整備面積	5.70ha	5.73ha	3.0ha	3.0ha	<b>12.0ha</b>	累計
3 多様な森づくり整備 面積	3.44ha	2.95ha	3.0ha	3.0ha	<b>12.0ha</b>	累計
4 シカによる農林産物 の被害額	6,108千円	5,988千円	6,022千円	5,824千円	<b>5,625千円</b>	単年度
5 シカの捕獲数	2,554頭	2,475頭	2,300頭	2,300頭	<b>2,300頭</b>	単年度
6 森林経営計画 認定率	79.3%	80.0%	80.5%	81.0%	<b>81.5%</b>	累計
7 作業道延長	1,496,211m (R4年度)	1,578,752m (R5年度)	1,700,000m	1,800,000m	<b>1,900,000m</b>	累計

## ○指標以外の目標

市有林の植栽において一貫作業システムやコンテナ苗の実証	市有林多様な森づくり事業実施
森林経営管理制度の着実な実施	森林経営管理推進事業実施

# 活↑(2)森林(もり)を活かす

## ①素材(丸太)の安定供給体制の整備

- 適正な素材(丸太)供給量の確保
- 素材(丸太)流通体制の強化

### 【R6年度実績】

(一部譲与税)

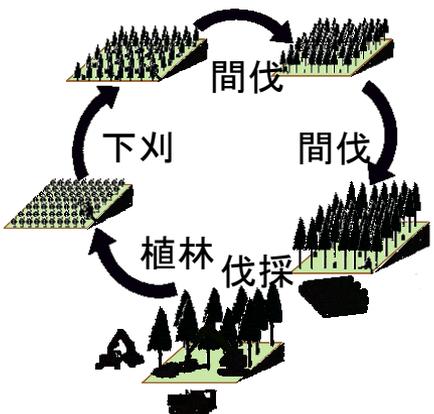
- ・森林整備総合対策事業(公共造林補助への上乗せ) 124,103(再掲)
- ・林業・木材産業構造改革事業(木材乾燥機整備ほか) 84,179  
⇒木材加工流通施設の原木流通施設整備に対し支援を行い、原木の安定的・効率的な供給体制を構築

### 【R7年度予算】

- ・林業・木材産業構造改革事業(ツインバンドソー整備ほか) 181,797  
(6年度繰越分)



ツインバンドソー



日田市内素材(丸太)生産量⇒

平成29年次	386千 <sup>3</sup> m	令和3年度	326千 <sup>3</sup> m
平成30年次	349千 <sup>3</sup> m	令和4年度	326千 <sup>3</sup> m
令和元年度	307千 <sup>3</sup> m	令和5年度	291千 <sup>3</sup> m
令和2年度	284千 <sup>3</sup> m	令和6年度	301千 <sup>3</sup> m



活 ②日田材の需要拡大・販売体制の強化

● 販路・販売拡大のための流通機能の強化 ● 地域一体となった日田材のブランド化

【R6年度実績】・木づかい促進事業（日田材・家具の支給） 46,994 【重点施策】（一部譲与税）

木づかい促進事業



	種別	件数	請負代金 (千円)	全木材 使用量(m <sup>3</sup> )	日田材 使用量(m <sup>3</sup> )	日田材 使用率
住宅	新築	62	1,663,157	1,396	1,283	91.9%
	リフォーム	176	415,073	312	311	99.7%

・災害分0件  
・家具13件

日田材普及啓発事業



日田材製品カタログ

- ・日田材普及啓発事業（国内・海外流通対策） 5,594 【重点施策】（一部譲与税）  
⇒日田材（大径材製品）の海外販路開拓や広報宣伝活動への助成及び市内製材所等の労働環境整備への助成、日田材製品カタログの製作等  
（・外構材（524m<sup>3</sup>）のアメリカへの出荷助成 ・14事業所 ・カタログ製作1,000冊）

- ・木の香るまちづくり事業（店舗等の木質化） 1,871 【重点施策】（譲与税）

用途	件数	請負代金(千円)	日田材使用量(m <sup>3</sup> )
店舗等	5	27,577	13.0
公共的施設等	1		

【R7年度予算】

- ・木づかい促進事業（日田材・家具の支給） 59,900 【重点施策】（一部譲与税）
- ・日田材普及啓発事業（国内・海外流通対策・セミナー） 8,639 【重点施策】（一部譲与税）
- ・木の香るまちづくり事業（店舗等の木質化） 6,240 【重点施策】（譲与税）

## 活 ②日田材の需要拡大・販売体制の強化 (つづき)

- 木材製品のイノベーション推進・需要創造
- 中大規模の建築物等における木造化・木質化の推進

### 【R6年度実績】

#### ・ 公共建築物等地域材利用状況

⇒ 赤石コミュニティセンターなど6施設  
地域材利用材積 59.9m<sup>3</sup>

#### ・ 小中学校机・椅子更新事業 54,160 (一部譲与税)

⇒ 小・中学校の老朽化した学校机等を更新するもので、  
日田家具工業会が製品開発した学校机椅子「きみの木」  
を市内小学校の5・6年生等に導入 (1,119セット)



新規の学校机・椅子

赤石コミュニティセンター



(全景)



(内部)

### 【R7年度予算】

#### ・ 小中学校机・椅子更新事業 50,433 (一部譲与税)

⇒ 市内小学校の3・4年生等に導入 (1,047セット)

## ③森林資源の有効活用の推進

- 未利用森林資源等の有効活用の促進
- 特用林産物の振興

## 【R6年度実績】



人工ほだ場によるしいたけ栽培

大分県ブランド商品  
「うまみだけ」

- ・ 市有林多様な森づくり事業 26,151 (再掲)  
⇒花粉の少ない品種・早生樹・広葉樹の育成のモデル林等の整備
- ・ しいたけ生産後継者育成事業 (機械導入等) 985  
⇒新規参入者機械導入助成 1件、ほだ木造成助成 1件
- ・ しいたけ生産活性化総合対策事業 (施設整備等) 6,540  
⇒作業路整備助成 延長1,490m 施設整備 (乾燥機・バックホウ) 等助成 4件
- ・ しいたけ生産促進事業 (種駒助成) 1,490  
⇒うまみだけ品種を対象とした種駒に対する助成
- ・ 市有林をワサビ圃場として貸出  
⇒1.76ha、8名に貸出 (R7.3.31現在)



森林を活用したわさび栽培

## 【R7年度予算】

- ・ 優良竹林化整備事業 (タケノコ生産用竹林整備等) 2,054  
⇒荒廃した竹林を優良な竹林に戻すための整備や作業道開設に対する支援

## ○施策体系別目標値（森林を活かす）

指標名 (基準年度:R4年)	実績 (R5年度(次))	実績 (R6年度(次))	7年度(次)	8年度(次)	目標値 (令和9年)	備考
1 素材生産量	291,295 m <sup>3</sup> (R5年度)	300,905 m <sup>3</sup> (R6年度)	334,000 m <sup>3</sup>	339,000 m <sup>3</sup>	<b>344,000 m<sup>3</sup></b>	単年度
2 除間伐面積	351.87ha	231.68ha	361ha	361ha	<b>361ha</b>	単年度
3 木材製造品出荷額 (家具製品は除く)	19,832百万円 (R4年次)	22,582百万円 (R5年次)	17,429百万円	17,459百万円	<b>17,489百万円</b>	単年度
4 乾燥木材生産量 (大分方式認証工場分)	103,853 m <sup>3</sup>	122,838 m <sup>3</sup>	106,600 m <sup>3</sup>	106,600 m <sup>3</sup>	<b>106,600 m<sup>3</sup></b>	単年度
5 乾しいたけ生産量	80.3t (R5年次)	72.0t (R6年次)	100t	100t	<b>100t</b>	単年度
6 生しいたけ生産量	54.9t (R5年次)	50.0t (R6年次)	80t	80t	<b>80t</b>	単年度

## ○指標以外の目標

海外出荷や都市圏の顧客開拓への支援	関係機関との連携強化
関係機関と連携し、公共施設や公益性の高い民間施設の木造木質化の推進	森林環境譲与税等活用



# (3) 森林 (もり) でつながる

- ①市民の森林・林業・木材産業への関心・理解、保全活動推進
  - 森林環境教育による市民意識の醸成
  - 市民参加による森林保全活動の推進

## 【R6 年度実績】 ・ 市民参加の森づくり事業 (植樹祭の開催) 74 【重点施策】

⇒萩尾市有林で筑後川流域圏と交流を含めた植樹祭を開催 (台風による中止)



木と暮らしのフェアチラシ

- ・ 木と暮らしのフェア (イベントの開催) 1,470 (一部譲与税)
  - ⇒主催：日田地域林業・木材産業活性化協議会 (参加者：約900人)



日田しいたけ生産協議会による 駒うち体験 (いつま小学校)

- ・ 木育推進事業 (講座の開催) 277 【重点施策】 (譲与税)
  - ⇒木育インストラクター養成講座の開催 (参加者 11人)



自然観察会の様子

- ・ 日田の自然観察体験事業 (観察会の開催) 514 (博物館予算) (譲与税)
  - ⇒フィールドブックを製作し、森林の公益的機能を中心とした自然観察会の開催 (自然観察会：7回、延べ113人 ガイドブック：3,000冊)



- ②森林資源を活用した地域の活性化
  - 地域資源を活用した産業観光の振興
  - 市民が集える森林空間の整備
  - 域内外への情報発信強化



竹林を活用した  
「千年あかり」

### 【R6 年度実績】



200海里の森づくり事業

・ 200海里の森づくり事業 300 (環境課予算)

⇒筑後川上流(中津江村)の森づくり(下刈・植栽)を下流域の都市住民(福岡県)共に行い、水源地域の森林の大切さを再認識し、森林整備に対する意識の高揚を図る。(参加者:約150人)

・ 大山ダム上下流交流事業 1,203 (環境課予算)

⇒しいたけの駒うち体験、ひと山まるごとガーデニングなど福岡都市圏の住民との交流。(参加者:約130人)



大山ダム上下流交流事業

### 【R7 年度予算】

・ 産業観光推進事業(H29~ひたりずむ) 3,444 (観光課予算)

⇒林業・木材産業等を観光資源として市観光課や日田市観光協会、市内22の事業所と連携。

(観光課予算)

【重点施策】  
(一部譲与税)



ひたりずむパンフレット



### ③森林・林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

- 担い手の確保・育成
- 地域リーダーの育成

#### 【R6 年度実績】



造林作業者の植林研修



山仕事就業促進事業  
現地研修

#### ・ 豊かな森づくり担い手育成事業 22,172 (一部譲与税)

⇒林業の担い手の確保・育成を行うため、社会保険料等の一部助成や安全対策費の補助、林業就業希望者に対する支援やキャリアアップに対する奨励金の給付を行う。

- ・ チェーンソー防護衣・安全靴、空調服等への購入助成 8事業体 対象者のべ45名
- ・ 造林作業者の新規参入者の育成支援に対する助成 (OJT研修) 11名
- ・ 「おおいた林業アカデミー」研修生への交通費助成 3名

#### ・ 山仕事就業促進事業 6,119 (譲与税)

⇒林業新規就業者確保のため、「ひた森の担い手づくり協議会」による情報発信や就業希望者に対する勉強会、新規就業者研修、中核担い手育成研修の事業支援を行う。

- ・ 情報発信：34回、ひた森勉強会：4回、14名、新規研修：3名、中核研修：1名

#### ・ 木造建築推進セミナーの開催 【重点施策】

⇒主催：日田木材協同組合

#### 【R7 年度予算】

#### ・ 豊かな森づくり担い手育成事業 26,204 (一部譲与税)

#### ・ 山仕事就業促進事業 12,467 (譲与税)

#### ・ 林業高校サポート事業 1,655 (一部譲与税)

⇒生徒の資格取得や林業科の全国募集に伴う宿泊や通学に伴う支援など



## ○施策体系別目標値（森林でつながる）

指標名 (基準年度:R4年)	実績 (R5年度(次))	実績 (R6年度(次))	7年度(次)	8年度(次)	目標値 (令和9年)	備考
1 産業観光年間視察団体数 (単独型)	315団体	307団体	345団体	360団体	375団体	単年度
2 森づくり大会参加者数	248人	台風による 中止	200人	200人	200人	単年度
3 SNS読者数(Facebook フォロワー数)	651人	指標削除				累計
4 認定林業事業者数	20事業者	20事業者	21事業者	22事業者	22事業者	累計
5 新規林業就業者数	33人	21人	20人	20人	20人	単年度

## ○指標以外の目標

新規林業就業者確保を目的とした支援制度	林業アカデミー受講支援、奨励金給付
林業就業者への雇用安定対策の検討	森林環境譲与税等活用

## 【参考】令和7年度 森林環境譲与税を財源とした事業一覧（現行予算）

番号	事業名	譲与税充当額	使途区分
1	森林経営管理推進事業【R7.6月補正】	36,311千円	①森林整備
2	森林整備総合対策事業	74,466千円	①森林整備
3	風倒木被害軽減対策事業	10,000千円	①森林整備
4	林道巡視維持改善事業	3,902千円	①森林整備
5	林道維持補修事業	30,000千円	①森林整備
6	林道作業道補修用原材料支給事業	40,000千円	①森林整備
7	森林防災流木等対策事業	8,000千円	①森林整備
8	林道台帳整備事業	36,148千円	①森林整備
9	豊かな森づくり担い手育成事業	7,960千円	②人材育成・担い手確保
10	山仕事就業促進事業	12,467千円	②人材育成・担い手確保
11	日田材普及啓発事業	6,100千円	②人材育成・担い手確保, ③木材利用の促進
12	林業高校サポート事業	845千円	②人材育成・担い手確保
13	スマート林業推進事業	800千円	②人材育成・担い手確保
14	木の香るまちづくり事業	6,240千円	③木材利用の促進
15	小中学校机・椅子更新事業(教育総務課)	29,488千円	③木材利用の促進
16	木づかい促進事業	9,400千円	④普及啓発
17	市民参加の森づくり事業、200海里の森づくり事業(環境課)	263千円、300千円	④普及啓発
18	木育推進事業	329千円	④普及啓発
19	森林・林業・木材産業に関する市民参加イベント等	1,115千円	④普及啓発
20	産業観光推進事業ほか2事業(観光課)	2,568千円	④普及啓発
21	日田の自然観察体験事業(博物館)	252千円	④普及啓発
22	本庁舎等改修事業(財政課)	1,727千円	④普及啓発
	■令和7年度森林環境譲与税額：325,492千円	小計：318,681円	執行率：98%(留保額：6,811千円)
累計	■令和元～7年度森林環境譲与税額：1,532,962千円	合計：1,391,067千円	留保額：143,319千円(利子含む) 執行率：91%